

一般競争入札（総合評価落札方式）に関する質問及び回答（Q&A）

最終更新日 2026年5月11日

独立行政法人情報処理推進機構

件名：「セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度における Web システム開発（フェーズ2）及び保守業務」に係る一般競争入札

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
1	評価項目一覧	P1～3	評価項目	「Ⅲ.仕様書」と「Ⅲ.要件定義書」が混在して記載されていますが、「Ⅲ.要件定義書」は「要件定義書」が正しい記載でしょうか。	ご認識の通り、「Ⅲ.要件定義書」は誤記です。「要件定義書」が正しい記載になります。	2026年 4月15日
2	評価項目一覧	P2	3.4.7と4.1.1の評価項目	どちらの評価項目も内容がほぼ同じなのですが、正しいでしょうか。正しい場合、「非機能要件」の観点と「開発プロセスに関する要件の実現方策」の観点から、それぞれ提案をすることになるのでしょうか。	ご認識の通り、「非機能要件」の観点と「開発プロセスに関する要件の実現方策」の観点からそれぞれ評価を行いますので、別々に提案してください。	2026年 4月15日
3	評価項目一覧	P1	1.1.2と3.1.1の評価項目	1.1.2「納入物件が網羅されていること。」と3.1.1「成果物が網羅的に記載されていること。」の評価ポイントの明確な違いを教えてください。 （「納入物件は成果物を包含するもの」と理解しているため、1.1.2	1.1.2「納入物件」と3.1.1「成果物」の評価ポイントの差異は、「開発部分」のみに特化して評価される（3.1.1）か、「保守運用」を含めた全体として評価される（1.1.2）かにあります。1.1.2が3.1.1を一部包含していることは事実ですが、完全に重	2026年 4月15日

				は3.1.1と重複するのではと考えております)	複しているわけではありません。	
4	要件定義書	P41	5.9.4 サポート・アクセシビリティ機能	多言語対応機能は、「4.7情報公開」に関する業務に関する画面（主に一般の方が使用）のみが対象との認識で合っていますでしょうか。	ご指摘の通り、外部に公開するもののみが対象です。	2026年 4月15日
5	要件定義書	P41	5.9.4 サポート・アクセシビリティ機能	多言語対応機能の詳細仕様に「※英語対応はフェーズ2後期」との記載がありますが、これは「2028年4月：第2回納品」での対応ということでしょうか。	「※英語対応はフェーズ2後期」は誤記です。「※英語対応はフェーズ2」が正しい記載となり、第1回納品での対応となります。	2026年 4月15日

6	要件定義書	P44	6.4 ユーザビリティ要件 6.4.1 操作性要件	レスポンシブルデザインは、「4.7 情報公開」に関する業務に関する画面（主に一般の方が使用）のみが対象との認識で合っていますでしょうか。	ご認識のとおり、利用者（一般の方）が利用する画面のみが対象となります。	2026年 4月15日
7	要件定義書	P44、46	6.4 ユーザビリティ要件 6.4.1 操作性要件 6.6 互換性・移植性要件 6.6.1 ブラウザ対応要件	この全てのブラウザ対応要件に対応するのは、「4.7 情報公開」に関する業務に関する画面（主に一般の方が使用）のみが対象との認識で合っていますでしょうか。もしその場合、それ以外の業務に関する画面（主に職員の方が使用）が満たすべきブラウザ対応要件は何になりますでしょうか。	ご認識のとおり、利用者（一般市民）向けの「4.7 情報公開」に関する画面については全てのブラウザ対応要件を満たすことが必要です。一方、職員が業務で利用する画面については、対応ブラウザを Microsoft Edge（Chromium 版）及び Google Chrome の最新安定版とします。	2026年 4月15日
8	要件定義書	P30	4.6.3 検索機能詳細	検索モードに「Basic 検索」と「Advanced 検索」がありますが、この検索機能を使用する利用者は「一般ユーザー」と「IPA 様職員」の双方が利用可能という認識でよろしいでしょうか？	要件定義書の「1.2 用語の定義」に定める「利用者」が利用します。	2026年 5月11日

9	要件定義書	P30	4.6.3 検索機能詳細	<p>検索モードに「Basic検索」と「Advanced検索」がありますが、検索結果表示について以下の認識でよろしいでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Basic検索」・・・P30の「4.6.4 検索結果表示 (Basic)」記載の項目 ・「Advanced検索」・・・P29の「4.6.2 検索対象データ」記載の項目 	<p>ご認識の通り、「Basic検索」はP.30の「4.6.4 検索結果表示 (Basic)」に記載の項目、「Advanced検索」はP.29の「4.6.2 検索対象データ」に記載の項目が検索結果の表示対象です。</p>	2026年 5月11日
10	要件定義書	P27	4.6.5 CSV エクスポート機能	<p>CSVエクスポート機能は「Basic検索」と「Advanced検索」それぞれの検索結果で利用可能という認識でよろしいでしょうか？</p>	<p>ご認識の通りです。</p>	2026年 5月11日
11	要件定義書	P29	4.8 ブロック組み替え機能	<p>ブロック組み替え機能の対象範囲についてご教示ください。4章に記載の全業務処理を組み替え対象として想定されているか、または対象外とすべき処理（例：入金確認のように申請業務完了後の実施が前提となり、前後関係が固定的な処理）があるか、現時点での想定をお示しいただけますでしょうか。</p>	<p>ブロック組み替え機能は、4章に存在しない新たな業務要件が将来発生した際に、「5. 機能要件」に定義された機能を組み合わせることで、その新業務に対応することを意図するものです。したがって、ブロック組み替え機能の対象は、「5. 機能要件」に記載する各機能です。</p>	2026年 5月11日

12	要件定義書	P16	4.2.2 適合評価 (2, 3, 4年))	有効期限業務の適合評価に★2レベルも対象に含まれていますが、有効期限業務の自己適合宣言での★2レベルの場合との違いを教えてください。	<p>要件定義書の「4.2 適合ラベルの有効期間業務」では、「4.2.1 自己適合宣言」において★1及び★2の延長申請について、「4.2.2 適合評価(2, 3, 4年))」において★3及び★4の延長申請(ただし、適合ラベル取得後2年、3年、4年経過時に限る。)について、「4.2.3 適合評価(5年、基準バージョンが変わった場合)」において★3及び★4の延長申請(ただし、適合ラベル取得後5年経過時又は適合基準にメジャーな改訂がなされた場合に限る。)について、それぞれ記載してあります。</p> <p>ご質問では「有効期限業務の適合評価に★2レベルも対象に含まれていますが」とありますが、正しくは前述のとおり「4.2.2 適合評価(2, 3, 4年))」に★2は含まれません。ただし、★3及び★4について、適合ラベル取得後5年を経過しないとき又は適合基準にメジャーな改訂がなされていないときは、自己適</p>	2026年 5月11日
----	-------	-----	---------------------------	--	---	----------------

					合宣言に基づき延長申請が行われます。このため、実質的な業務フローとしては、「4.2.1 自己適合宣言」と「4.2.2 適合評価(2, 3, 4年)」は同様です。	
13	要件定義書	P33	5.1.4 確認仕様	<p>確認内容に記載されている処理内容には、何れも「(目視)」と記載されています。</p> <p>また、備考欄にも「システムは自動バリデーション機能を持たず、すべての確認は担当者による目視確認で実施される」と記載されています。</p> <p>これは、現行システムでの現状の仕様ではなく、フェーズ2の仕様としての記載との認識で合っていますでしょうか。</p> <p>※フェーズ2においても、目視確認のままで問題ないか</p>	ご認識の通りです。	2026年 5月11日

14	要件定義書	P34	5.2.4 確認仕様	<p>確認内容に記載されている処理内容には、何れも「(目視)」と記載されています。</p> <p>また、備考欄にも「システムは自動技術バリデーション機能を持たず、すべての技術確認は技術担当者による目視確認で実施される」と記載されています。</p> <p>これは、現行システムでの現状の仕様ではなく、フェーズ2の仕様としての記載との認識で合っていますでしょうか。</p> <p>※フェーズ2においても、目視確認のままで問題ないか</p>	ご認識の通りです。	2026年 5月11日
----	-------	-----	------------	---	-----------	----------------